SD カードポータブルオーディオプレーヤー**PD－205（BLACK）**機能について

「PD－205」は記録メディアに SD／MMC カードを使うポータブルオーディオプレーヤーです。
音楽のジャンルに応じてカードを交換して楽しむなど、様々な活用が可能です。本体には液晶パネルも付いています。

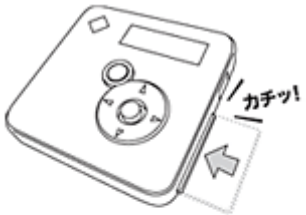
主な特徴
・ 最大 2GB の SD／MMC カード対応
・ USB1.1 インタフェース
・ バックライト付き液晶
・ ID3 タグ対応
・ MP3，WMA ファイル対応
・ 単 4 乾電池 1 本で連続 12 時間再生
・ イコライザ搭載
・ ファームウェアアップデート可能
・ 53×53×16mm　35g の小型軽量
・ S／N 比　90dB
・ 周波数特性　20Hz－20ｋＨｚ
・ 対応 OS　Microsoft（R）Windows（R）　Me／2000／XP
・ 付属品　ステレオイヤフォン、USB ケーブル、単 4 乾電池、ネックストラップ、取扱説明書、保証書

※ Windows98E をお使いの場合 USB ドライバのインストールが必要です。

＜基本操作について＞

音楽データも取り込み、SD カードの中身は満タン！ここでは、とっても簡単に使うことのできる PD-205 の基本的な操作を学ぼう！

1．音楽データ（MP3 もしくは WMA）を取り込んだ SD カードを PD-205 の SD カードスロットに挿入
（カチッと音がするまでしっかり差しましょう）



2．バックカバーを外し単 4 乾電池を入れましょう。裏蓋はしっかりしめてください。

3．イヤフォンを上部ヘッドフォンマークの付いたプラグに差し込みましょう。
（しっかり奥まで差し込まないと音が聞こえない場合があります）

4．正面中央の○（電源マーク）ボタンを 2～3 秒続けて押すと電源が入ります。

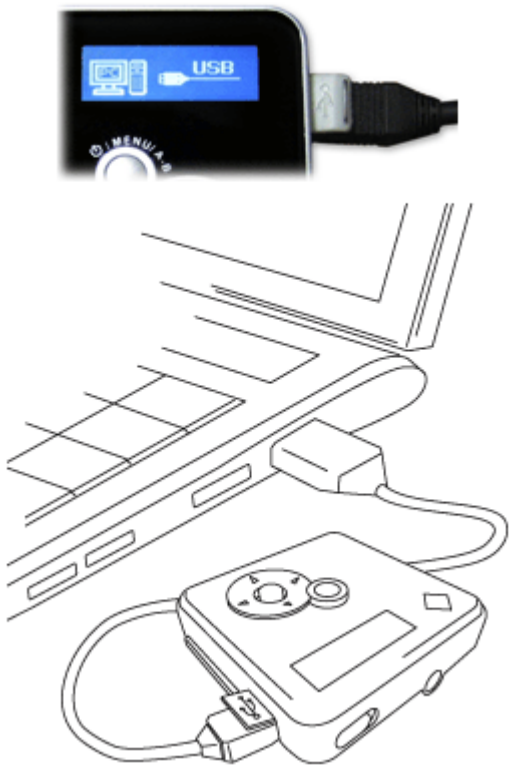
5．十字キー（画像を入れる）の真ん中のボタンを押すと再生されます。

6．十字キー（画像を入れる）の真ん中のボタンを再度押すと音楽が停止します。

＜PD－205 で音楽を取り込む＞

1 PD-205 は MP3 と WMA という 2 種類のフォーマットに対応しています。データを PD-205 に取り込むには、まず本体と MiniUSB ケーブルを差し込んだ後に PC の USB デバイスに差込みます。本体と PC が USB ケーブルで正常に接続すると、液晶パネル部分が青く光り「USB」の文字とアイコンが出現します。

2 本体と PC が接続したことを確認したら、Windows Media Player（MicroSoft より最新版を無償ダウンロードができます）を起動し PC の CD ドライブに音楽 CD を入れ、録音ボタンを押すと全曲が WMA というフォーマットにて自動的に録音されます。この状態でインターネットに繋いでいると、インターネット上から曲名も自動的にデータとして保存され、PD-205 の液晶ディスプレイにて曲名として表示されるので便利です。



3 録音が終了し、PC 上に音楽データがファイルとしてフォルダ内に格納されたら、そのフォルダを PD-205 本体にドラックするだけでデータ転送が完了します。なお、この場合のドラックとは、PD-205 本体に差し込んだ SD カードに転送することになるので、SD カードの容量をよく確認しましょう。

4 一部の CD では、録音する時に PC の画面上に不正コピー防止用ダイアログ（警告）が表示される場合がありますが、その場合には録音しフォーマットされた楽曲ファイルに『コピー防止機能を追加する』旨の選択はしないでください。

CCCD （CCCD: Copy Control CD）の音楽データ取り込みについて：2001 年～2004 年までの音楽データの場合、Windows Media Player では取り込み出来ないものが存在します。この場合には音楽 CD からの直接取り込み（リッピングといいます）はできません。